

技術評論

取締役技術本部副本部長 高野祐吉

時間はとどまることなく、人も社会も自然も移り変わります。その中で社会は人間の為に成ることを追求して発展して来ました。社会の中の会社も例外ではありません。我が社は今年、創業80周年を迎えることになりました。会社の歴史には、創業者はじめ、多くの先人の努力が込められており、企業活動の貴重な教訓、技術の蓄積等となって、今日まで受け継がれて来ています。過去を振り返ることも、現在を理解し明日の進展への足掛かりを得るために重要なことではありますが、ここでは会社の歴史には触れず、これからどうあるべきかについての考えを述べてみたいと思います。

会社は停滞することなく活動しており、社会に貢献することを目指しています。それは品質が良く、経済的で、丈夫で、美しく、快適な感じを与える構造物を提供することです。更に、時代の要請による科学と技術の粋を集めて過去に無かった構造物を造り出すことが求められます。これは社会の発展を示す具体的な要求と申せましょうか。科学と技術は人間が創り出したものであり、大勢の人々の着実な努力の賜物であり、その積み重ねの結果が今日の技術力になっています。技術を受け継ぐ者として繁栄している現状に満足することは先人の遺産を食いつぶすことであり、責務を果たさないことになります。耐えず求められるものは高く、これを追求することが努力目標であり夢であります。身近な所で技術力の向上に夢をかけて努力している姿を良く見ます。これ等の人々に支えられて、構造物の技術は今日の状態にまで進歩発展したと言えましょう。過去を振り返りますと非常に豊富な研究があり、引き継がれて来ています。その中に材料の進歩があります。使用される材料は鉄、コンクリート、鋼等をはじめ、これ等材料の混用、複合、合成等があり、アルミニウム、プラスチックにまで至ろうとしています。経済的に材料の耐久力を発揮させるのが大切な技術になっています。他方で構造物の固有技術も重要であり、鋼構造物の内、特に橋梁では橋梁工学の成果を取り込んで、長い径間の橋への挑戦が行われています。

長大橋を完成させるためには、計画、設計、製作、架

設の最新技術を駆使しなければなりません。現状技術では対応の難しい所を研究の積み重ねにより解決しており、不可能を可能に変えてきています。我が国では本州と四国を結ぶ橋が関係者の夢でありましたが、完成を真近にひかえており、この夢は関係者の努力により実現できることを体験させてもらっています。次なる長大橋の夢は明石海峡大橋ですが、今や何人も疑うことの出来ない段階にまで来ていることは技術開発を行って来た賜物と思います。海外に目を転じますとメッシナ海峡大橋が計画されており、夢の架け橋として話題になっています。長大橋は洋の東西を問わず、夢の対象物であると申せましょう。観点を変えて見ますに、技術者の夢は長大橋を架け渡すことばかりではありません。現状を打破してより良いものを産み出すことにもあります。身近かな所にも技術を発展させる余地が沢山残っているからです。設計技術者には合理的にして経済的、美的な使い易い設計を、製作にたずさわる技術者には設計者の意図する製品を早く、合理的に作ることを、現場で架設する技術者には安全で経済的に施工出来る技術が絶えず求められています。男子一生の業とするにふさわしい仕事と言えらると思います。それは研究心を持って、本質を見極め、問題点を明らかにし、内容を整理し、科学と既存技術を駆使することで、努力の余地があるからです。実状は多くの技術者による分業で鋼構造物は作られていますので、個人の技術が全てではありませんが、一人一人の技術者が創造工夫することにより、技術の発展に寄与出来、良い結果が出せるものです。技術を大切に、業務に誇りを持ち、情熱を打ち込んで始めて業績の向上にもなろうと言うものです。ここで、技術の発展に努めることは、個人としては現在を有意義に過ごすことになり、企業の発展に貢献することになります。夢には色々あろうかと思いますが、日ごろの創意工夫が社会の夢、企業の夢を実現させる原動力となり、ひいては個人の夢をかなえるものと思います。

いつまでも夢は持ち続けたいものです。